

## 関連イベントも盛りだくさん!!

### 展示解説会

- 日 (歴史編) 1月6日(日)、2月3日(日)、3月3日(日)  
いずれも11時～11時30分 直接会場へ
- 日 (考古編) 1月27日(日)、2月24日(日)、3月3日(日)  
いずれも14時～14時30分 直接会場へ
- 内 企画展を各分野の担当学芸員が解説
- ¥ 観覧料が必要

### 缶詰製作体験

- 日 1月14日(月)、2月11日(月)、3月2日(土)  
いずれも10時～11時 直接会場へ
- 内 手動の機械を使って缶詰の巻き締め体験
- ¥ 観覧料が必要 定 各20人 先着順
- 持 缶の中に入れてたい物 (食べ物不可)

### ミュージアムラボ「エゾシカの角でいろいろなものをつくってみよう」

- 日 1月26日(土) 10時～12時
- 対 小学4年生以上 (小学3年生以下は保護者同伴)
- 内 エゾシカの角を削って磨いて、携帯ストラップやペーパーナイフなどを作る
- 定 20人 申し込み順 申 電話で

### 古文書解読講座中級編(全2回)

- 日 1月12日(土)、19日(土)  
いずれも13時30分～15時30分
- 対 高校生以上
- 内 美々鹿肉缶詰工場に関する明治時代の古文書を読む
- 定 30人 申し込み順 申 電話で

### 担当からのメッセージ

「美々鹿肉缶詰工場」を取り上げた展示は今回が初めてとなります。これまで明らかになっていなかった工場の歴史や、先史時代から現代に続く鹿との関わりなどを、歴史&考古の両分野から探ります。お楽しみに!



学芸員 佐藤 さとう

ポイント  
2

## 鹿肉缶詰

鹿肉缶詰に貼られたラベルには、日本語表記のほかに英語表記が見られます。鹿肉を意味する「VENISON」、その下には開拓使を表す「KAITAKUSHI DEPARTMENT」の文字が記されています。ここから分かるように、缶詰は海外輸出を視野に入れた商品でした。

当時、缶詰は非常に高価な品物であり、国内では売れる見込みがありませんでした。

ちなみに140年前に作られた本物の鹿肉缶詰は、北海道大学北方生物圏フィールド科学センター植物園に保管されています。

(※今回は展示しません)



▲鹿肉缶詰 (複製)

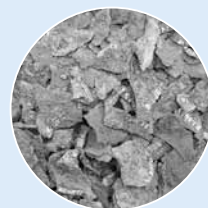
ポイント  
3

## 工場跡から出土したもの

昭和49(1974)年に、文化財保護の一環として苫小牧市教育委員会による工場跡の発掘調査が行われました。発掘した資料をまとめて紹介するのは今回が初めてとなります。

### ① 缶詰の破片

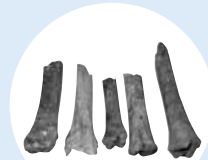
出土品の多くは缶詰の破片です。中には缶詰の形が半分以上残っているもの、缶詰のふたらしき破片も見つかっています。



缶詰の破片

### ② 動物の骨

缶の破片だけでなく動物の骨の破片も出土しています。中でも一番数が多いのは、やはり缶詰の原料となったエゾシカの骨です。



エゾシカの骨

### ③ レンガ

このレンガは「函館レンガ」と呼ばれ、開拓使が設置した茂辺地煉化石製造所で作られました。レンガの表面には「明治九年 函館製造」の刻印が見られます。缶詰を煮るための「釜」に使われたと考えられています。



函館レンガ (明治9年)